

阿蘇市まち・ひと・しごと創生

総合戦略



平成27年10月

阿蘇市

阿蘇市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(目次)

I. 基本的な考え方

- (1) 趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- (2) 基本目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- (3) 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- (4) 国の総合戦略との関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

II. 今後の施策の方向

- 1. 政策の基本目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
 - (1) 成果（アウトカム）を重視した目標設定
 - (2) 4つの「基本目標」
- 2. 政策パッケージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 3. 施策目標と検証・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 4. 戦略実効性の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

III. 「経済」の活性化による地域の活力創造

- 1. 政策パッケージ1：移住定住の促進による選ばれる地域戦略・・・・・・・・・・5
 - (ア) 移住定住総合支援の構築
- 2. 政策パッケージ2：産業振興による活力ある地域戦略・・・・・・・・・・5
 - (ア) 農林業従事者の担い手育成・確保
 - (イ) 農地の有効利用の促進と経営支援
 - (ウ) 地域産業の育成・支援
- 3. 政策パッケージ3：阿蘇ブランドを活かした魅力ある地域戦略・・・・・・・・・・7
 - (ア) 地域資源を活かした新たな観光需要の喚起と受入れ環境の強化
 - (イ) 阿蘇ブランド推進による地域活性化
- 4. 政策パッケージ4：未利用資源の活用による地域戦略・・・・・・・・・・8
 - (ア) 地域循環型の新エネルギー産業の促進
 - (イ) 地域を取り込んだ草原・森林景観の維持保全活動の促進

IV. 「福祉・生活」の充実による選ばれるまちの創造

1. 政策パッケージ5：結婚・子育て世代の希望を叶える地域戦略・・・・・・・・・・10
 - (ア) 出産、育児の負担軽減
 - (イ) 安心して子育てできる環境の充実
 - (ウ) 結婚倍増プロジェクト「阿蘇は二人を待っている！！」
2. 政策パッケージ6：みんなに優しく安心してくらせる地域戦略・・・・・・・・・・11
 - (ア) 住みやすい生活環境と交通の充実
 - (イ) 遊休公有施設の利活用
 - (ウ) 地域一体となった消防・防災体制の充実
 - (エ) 広域連携による生活関連機能の強化
3. 政策パッケージ7：健康づくりと生きがいくりの地域戦略・・・・・・・・・・13
 - (ア) シニア世代の健康促進と地域コミュニティの強化
 - (イ) 健康長寿の延伸

V. 「教育」による人材育成と郷土愛の創造

1. 政策パッケージ8：ふるさとづくりの推進による地域戦略・・・・・・・・・・15
 - (ア) ふるさと発見づくりプロジェクト「阿蘇の魅力は無限大！！」
 - (イ) ふるさと応援づくりプロジェクト「阿蘇があなたを待っている！！」
2. 政策パッケージ9：学校教育の充実による地域戦略・・・・・・・・・・16
 - (ア) 選ばれる学校教育プロジェクト「阿蘇で学問の進め！！」

I 基本的な考え方

(1) 趣旨

総合戦略は、阿蘇市が将来の人口減少や少子高齢化が急速に進む社会情勢においても高い持続性を確保していくことを目的として、阿蘇市人口ビジョンの将来展望に基づく中期施策をまとめたものです。

この戦略は、本市人口減少の要因である若年層を中心とした転出超過による「社会減」に歯止めをかけ、「仕事」と「人」の好循環による持続可能な地域社会の創造を目指します。

(2) 基本目標

阿蘇市人口ビジョンでは、阿蘇市の将来人口予測と現状分析を基に、基本的な方向と将来展望を以下に設定しています。

【基本的な方向性】

- ① 「経済」の活性化による地域の活力創造
- ② 「福祉・生活」の充実による選ばれるまちの創造
- ③ 「教育」による人材育成と郷土愛の創造

【目 標 値】

- ① 2060年の将来人口は「20,000人」を維持する。
- ② 転入転出による社会増減の割合を±0に抑える。
- ③ 現状の合計特殊出生率「1.7」を維持する。

(3) 計画期間

計画期間は、平成27年度から平成31年度の5ヶ年間とします。

(4) 国の総合戦略との関係

将来的な人口減少に歯止めをかけ、「東京一極集中」の人口構造を是正するための基本的な考え方や政策については、国が策定している「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づきます。

◆「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方と政策5原則抜粋

○基本的な考え方

1. 人口減少と地域経済縮小の克服

- ・地方は、人口減少を契機に、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥るリスクが高い。
- ・人口減少克服・地方創生のためには、3つの基本的視点から取り組むことが重要。

- ①「東京一極集中」の是正 ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- ③地域の特性に即した地域課題の解決

2. まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

①しごとの創生

- ・若い世代が安心して働ける「相応の賃金、安定した雇用形態、やりがいのあるしごと」という「雇用の質」を重視した取組が重要。

②ひとの創生

- ・地方への新しい人の流れをつくるため、若者の地方での就労を促すとともに、地方への移住・定着を促進する。
- ・安心して結婚・出産・子育てができるよう、切れ目ない支援を実現する。

③まちの創生

- ・地方で安心して暮らせるよう、中山間地域等、地方都市、大都市圏等の各地域の特性に即して課題を解決する。

○まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則

人口減少克服・地方創生を実現するため、5つの政策原則に基づき施策を展開する。

- ①自立性 …… 構造的な問題に対処し、地方公共団体、民間事業者、個人等の自立につながる。
- ②将来性 …… 地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する。
- ③地域性 …… 各地域の実態に合った施策を支援。国は支援の受け手側の視点に立って支援。
- ④直接性 …… 最大限の成果をあげるため、直接的に支援する施策を集中的に実施する。
- ⑤結果重視 …… PDCAメカニズムの下、具体的な数値目標を設定し、効果検証と改善を実施する。

Ⅱ 今後の施策の方向

1. 政策の基本目標

(1) 成果（アウトカム）を重視した目標設定

総合戦略では、政策の「基本目標」を明確に設定し、それに基づき適切な施策を内容とする「政策パッケージ」を提示するとともに、政策の進捗状況について重要業績評価指標（KPI）で検証し、改善する仕組み（PDCAサイクル）を確立する必要があります。

こうした観点から、政策の「基本目標」については、「阿蘇市人口ビジョン」を踏まえ、総合戦略の目標年次である2020年において、実現すべき成果（アウトカム）を重視した数値目標を設定します。

(2) 4つの基本目標

総合戦略では、以下の4つの基本目標を設定し、それを達成するための各種政策により、人口減少克服に向けた取り組みを推進していきます。

【基本目標①】阿蘇市の産業を支え新たな雇用を創出する

◆雇用創出数

2020年までの5年間の累計で、阿蘇市の生産年齢人口比率を3%向上させる。
(2020年時点 2015推計値(53%)比)

【基本目標②】阿蘇市へ新しいひとの流れを作る

◆阿蘇市への移動による人口収支をプラスに近づける。

転入数：50人増加、転出数：100人減少（2020年時点、2014年比）

◆年間観光入込客数を増加させ、宿泊・サービス業や商・農業の活性化を図る。

観光入込客数を（国内5%、海外10%）増加（2020年時点 2014年比）

【基本目標③】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

◆阿蘇市に居住する0歳から12歳の子供を有する世帯の割合を10%増加

(2020年時点 2014年比)

【基本目標④】時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

◆2020年の人口は、27,000人台を維持する。

(2014年度末住民基本台帳27,723人)

2. 政策パッケージ

基本目標の実現に向けて、阿蘇市人口ビジョンにおける基本的な方向性を踏まえた政策パッケージにより、短期的なものだけでなく中長期を含む施策を提示します。

政策パッケージの遂行に当たっては、国の政策5原則（自立性・将来性・地域性・直接性・結果重視）を基本とし、市民・民間団体・教育機関・金融機関等を含む産官学金労の連携を促すことで、政策の効果をより高める工夫を行うこととします。

3. 施策目標と検証

各施策と重要業績評価指標（KPI）は、5年後の基本目標達成に向けて、具体的な成果に係る数値目標をそれぞれ設定しています。

事業の進捗及び各KPIの達成状況については、産官学金労で構成する阿蘇市地域計画会議において、客観的な視点に立った検証を実施しながら各施策の「質」を高め、より効果的な事業実施に向けて取り組みます。

4. 戦略実効性の確保

各施策の展開に必要な財源については、国の地方創生交付金や国県補助事業等を最大限活用していくほか、既存事業の再構築や官民の役割分担による事業推進を行いながら、持続性と実効性を高めていきます。

Ⅲ. 「経 済」の活性化による地域の活力創造

総合戦略「基本目標①」「基本目標②」の達成を目指す分野となります。

「農業」「観光」「商工業」の担い手育成・支援や地域資源を活用した新たな産業創出による「しごと」と、移住定住施策の展開による「ひと」の好循環による地域の活力創造を目指します。

◆政策 P1：移住定住の促進による選ばれる地域戦略

●施策 1：移住定住総合支援の構築

子育て世代や若年層を対象として、本市に移住・定住するためのきっかけづくりに取り組みます。民間及び多様な人材と連携した移住・定住の支援体制の構築と情報発信の強化により人口誘導を図ります。

【取 組】

- ①移住定住総合窓口の整備と情報発信の強化
- ②定住環境の整備と定住支援
- ③子育て世代向け住宅取得等助成
- ④U・I・Jターン者就業促進対策

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|--------------------|------------------|
| 子育て世代の移住・定住数 | 5年間で50世帯 |
| U・I・Jターンの就業者 | 5年間で30人 |
| 地域ブランド調査(1,000市町村) | 総合ランキング50位以内を目指す |

◆政策 P2：産業振興による活力ある地域戦略

●施策 1：農林業従事者の担い手育成・支援

生産性向上や高付加価値農業の推進を図ることで、農業経営の魅力を引き出し、多様な担い手の確保・育成に取り組みます。併せて、農業所得向上のための技術及び生産機能強化への支援や、道の駅等の地域物販施設及び観・商業との連携強化による域内流通の促進を図ります。また、教育機関との連携により、農業の可能性を次世代に伝える取り組みも促進します。

【取組】

- ①新規就農者支援体制の整備と情報発信の強化
- ②集落営農機能の強化
- ③農林業の経営安定化支援
- ④「農商工観」連携による地域循環型農業の推進
- ⑤農道、用排水施設等の農業生産基盤の整備促進

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|--------|----------------|
| 新規就農者数 | 5年間で30経営体増加させる |
| 農業法人数 | 5年間で10経営体増加させる |
| 林業従事者数 | 5年間で10経営体増加させる |

●施策2：農地の有効利用の促進と経営支援

農地集積や経営規模拡大による効率的な農業経営や6次産業化の取り組みを支援することで、経営の安定化や地域雇用の増加を図ります。

【取組】

- ①6次産業化の推進
- ②法人化に向けた農業経営支援
- ③農地集積の推進

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 6次産業化に取り組む事業者 担い手への農地集積率 | 5年間で3事業者 農地の80%を担い手に集積する |
|-----------------------------|-----------------------------|

●施策3：地域産業の育成・支援

市内商工業及び商店街等の発展と就労人口増加を促すため、新たな産業進出や事業拡大を支援します。また、産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」に沿った創業者支援についても、商工会及び金融機関等との連携により推進していきます。

【取組】

- ①事業拡大、新分野進出、新規創業の支援
- ②空き店舗の有効活用による商店街の活力創出

③商工業者の後継者育成・支援

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|---------------------|---------------------------------|
| 市内事業所従業者数 新規創業者数 | 現状11,188人から5%増加させる 5年間で10事業者 |
|---------------------|---------------------------------|

◆政策P3：阿蘇ブランドを活かした魅力ある地域戦略

●施策1：地域資源を活かした新たな観光需要の喚起と受入れ環境の強化

世界認定を受けた「阿蘇グローバルジオパーク」の認知度向上と商品化を促進するため、資源を活用した滞在観光と外国人観光客の受け入れ環境強化を図ります。また、地域連携による効果的なプロモーション展開を図るため、観光推進体制の再構築による観光振興マネジメント組織（DMO）の整備を促進します。

【取組】

- ①阿蘇グローバルジオパーク関連の商品造成と着地型観光商品の販売システム整備
- ②外国人受入れ環境整備の推進
- ③草原資源等を活用した環境学習や教育旅行誘致の促進
- ④広域連携によるインバウンド対策の強化や合同プロモーション等による効果的な旅行需要の喚起
- ⑤二次交通網の整備による移動利便性の向上
- ⑥滞在型観光促進のための情報発信機能の強化
- ⑦自立型観光推進体制（DMO）の整備・促進

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|-------------------|---------------------------------------|
| 国内宿泊客数 外国人宿泊客数 | 現状73.4万人を80万人に伸ばす 現状8.4万人を12万人に伸ばす |
|-------------------|---------------------------------------|

●施策2：阿蘇ブランド推進による地域活性化

地域に暮らす人々をも地域資源としてとらえ、豊かな自然・歴史・文化と融合した「阿蘇ブランド」の推進による地域活性化と多様なプロモーション展開による誘客促進を図ります。

【取組】

- ①市民ブランド「然」の深化と地場産業の育成・支援
- ②地域産品を活かした商品開発と販売・流通の強化
- ③市民協働によるブランドプロモーションの強化

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|--------------------|---------------------|
| 市民ブランド「然」の認定数 | 現状135件を300件まで伸ばす |
| 観光消費額（宿泊含む1人当たり単価） | 現状15,200円から10%上昇させる |

◆政策P4：未利用資源の活用による地域戦略

●施策1：地域循環型の新エネルギー産業の促進

木質バイオマス等の再生可能エネルギーの有効利用による農林業の再生と、それに付随する新たな産業化を支援することで、継続可能な循環型社会の創造とグリーン産業の創出による雇用拡大を図ります。

【取組】

- ①再生可能エネルギーの導入促進
- ②地域資源を活かした循環型社会の促進

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|---------------------|-----------|
| 再生可能エネルギー導入に伴う実証実験数 | 現状0件 ⇒ 2件 |
|---------------------|-----------|

●施策2：地域を取り込んだ草原・森林景観の維持保全活動の促進

阿蘇の広大な草原及び森林資源を未来に引き継ぐことを目的に、持続的な地域コミュニティによる郷土保全の意識を高めるため、地域一体となった保全活動等の取り組みを支援します。

【取組】

- ① 草原維持活動への支援
- ② 森林が持つ多面的機能の維持保全

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|-----------------------------|-------------------------------------|
| 野焼きボランティア登録者数 草原体験プログラム数 | 現状670人を800人に伸ばす 5年間で20プログラムを整備する |
|-----------------------------|-------------------------------------|

IV. 「福祉・生活」の充実による選ばれるまちの創造

総合戦略「基本目標③」「基本目標④」の達成を目指す分野となります。子育てや福祉などの生活環境の充実と、防災など安心なまちづくりの推進により、市民の「居住」に対する満足度を高めることで、人口流出抑制と出生率向上を目指します。

◆政策P5：結婚・子育て世代の希望をかなえる地域戦略

●施策1：出産、育児の負担軽減

安心して子供を産み・育てることができるよう、地域や社会で子育てを支える環境づくりを進めることで、子育て支援サービスの充実を図ります。

【取組】

- ①地域子育て支援環境整備
- ②子育て支援センターのサポート体制の充実と支援拡充
- ③不妊・不育症への支援
- ④多子世帯の経済負担軽減
- ⑤「健康な体」「健康なこころ」を育てる支援

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|---------|------------------|
| 合計特殊出生率 | 現状の「1.7」を維持する |
| 待機児童数 | 通年での「待機児童なし」を目指す |

●施策2：安心して子育てできる環境の充実

子育て世代の就労と育児の両立をサポートし、安心して仕事・生活ができる家庭環境と子供たちの健全な育成を支援します。

【取組】

- ①子育て援助活動の充実
- ②放課後児童クラブの支援拡充
- ③病児保育の充実
- ④子育て世代就労支援
- ⑤DV等の早期発見と相談体制の充実

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|------------------------|--------------------|
| 子育て環境の満足度 (アンケート調査) | 「普通」以上の割合70%以上を目指す |
|------------------------|--------------------|

●施策3：結婚倍増プロジェクト「阿蘇は二人を待っている！！」

結婚希望者が良縁に恵まれ、阿蘇市で安心して結婚し定住できるよう、官民共同のサポート体制の充実を図ります。

【取組】

- ①結婚希望者への婚活支援
- ②結婚・定住・子育て等に関するサポート体制の整備促進と情報発信の強化

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|-------|---------------|
| 未婚者比率 | 現状40%を5%減少させる |
|-------|---------------|

◆政策P6：みんなに優しく安心してくらせる地域戦略

●施策1：住みやすい生活環境と交通の充実

慣れ親しんだ地域で安心して生活ができるよう、買物や通院などに利用する交通手段の確保と買物等不便地域の改善に向けて取り組みます。また、全戸に整備している光ネットワーク機能を活かして市民サービスの深化に努めます。

【取組】

- ①路線バス等再編による地域公共交通の再構築
- ②交通弱者に対する環境の整備
- ③やさしいまちづくりの推進
- ④光ネットワークを活用した行政サービスの拡充
- ⑤快適な道路ネットワークの構築

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 乗合タクシー利用者数 都市データパック「住みよさランキング」 | 現状から10%増加させる 全国ランキング「5位」以内を目指す |
|-----------------------------------|-----------------------------------|

●施策2：遊休公有施設の利活用

少子化や人口減少に伴う統廃合等により、本来の目的を終えた学校施設等の公共施設について、民間を含めた地域の経営資源を生かし、新たな価値を生み出すなど、地域活性化に資する有効利用の取組を推進します。

【取組】

- ①遊休公有施設の再利用によるコミュニティ活動の充実
- ②遊休公有地及び公有施設の民間利用の推進

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|--------------|----------|
| 未利用公有地（施設）比率 | 10%減少させる |
|--------------|----------|

●施策3：地域一体となった消防、防災体制の充実

市民が安心して暮らせるよう、地域一体となった防火・防犯・防災意識の高揚を図ることで、災害に強いまちづくりを推進します。

【取組】

- ①防災・減災体制の充実
- ②消防団及び消防施設の充実
- ③災害に強いまちづくり
- ④空き家対策特別措置法への対応

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|----------|----------------------|
| 自主防災組織率 | 現状94%を100%に近づける |
| 消防団員の確保率 | 現状794人を条例定数834人に近づける |

●施策4：広域連携による生活関連機能の強化

人と経済の好循環が期待できる交通インフラ整備や市民サービスの向上を目的とする行政間広域連携の整備促進を図り、生活利便性を高めたまちづくりを推進します。

【取組】

- ①連携中枢都市圏による市民サービスの向上と経済活性化
- ②中九州高規格道路の整備促進による生活圏の拡大

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|--------------------------|------------------------------|
| 阿蘇市への移動による人口収支をプラスに近づける。 | 転入数：50人増加、転出数：100人減少（2014年比） |
|--------------------------|------------------------------|

◆**政策P7：健康づくりと生きがいづくりの地域戦略**

●**施策1：シニア世代の健康促進と地域コミュニティの強化**

高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、保健や介護など地域住民の連携による官民一体となった地域包括ケアの構築を進めながら、コミュニティ機能の強化を図ります。

【取組】

- ① 高齢者の健康づくりと介護予防
- ② 高齢者の生きがい対策の充実
- ③ 高齢者の生活環境の整備
- ④ 地域コミュニティ活動の充実

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| 老人クラブ加入率 65歳以上の要介護認定者の割合 | 対象高齢者の80%以上の加入を目指す 現状20%を25%程度に抑える |
|-----------------------------|---------------------------------------|

●**施策2：健康寿命の延伸**

市民が生涯にわたり健康な生活が送れるよう、健康長寿のまちづくりを目指します。
市民の「健康」に関する意識を高め、早期発見・早期治療による健康維持と医療費抑制効果を促します。

【取組】

- ① 生涯にわたる生活習慣病の予防と重症化予防
- ② がんの発症予防と早期発見
- ③ 市民による健康づくり活動の推進

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|---------|-----------------|
| 特定健診受診率 | 現況42%を65%へ向上させる |
|---------|-----------------|

V. 「教育」による人材育成と郷土愛の創造

総合戦略「基本目標②」「基本目標④」の達成を目指す分野となります。

人材育成を地域創生のはじまりと位置づけ、郷土に誇りを持って未来に進む若者を応援し、多様な可能性にチャレンジする人材を支援します。

◆政策P8：ふるさとづくりの推進による地域戦略

●施策1：ふるさと発見プロジェクト「阿蘇の魅力は無限大！！」

阿蘇の歴史や文化を再認識することで、阿蘇の強みや魅力を市民が共有できる取り組みを推進します。また、「阿蘇ファン」を増やすための情報発信を強化し、ふるさと納税制度等の有効活用による財源の確保にも努めます。

【取組】

- ①歴史・文化・自然・阿蘇の達人を活かした“阿蘇学”の創作
- ②住み続けたい阿蘇の発信強化
- ③阿蘇サポーター・ファンの創出・拡充
- ④世界文化遺産への登録推進

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|---------------|----------------------|
| ふるさと納税納付者数 | 現状52件（H26）を50%増加させる |
| ASO環境共生基金納付件数 | 現況258件（H26）を10%増加させる |

●施策2：ふるさと応援プロジェクト「阿蘇があなたを待っている！！」

体育・文化活動の充実と市民参加を促進させ、世代間交流の増加による活気あるまちづくりを推進します。また、若者の可能性を後押しする支援体制の整備を進めます。

【取組】

- ①若者等の地域活動への体制整備・活性化支援
- ②特色ある文化・スポーツ活動への支援強化
- ③若者等の可能性を広げる応援体制の整備
- ④トップアスリート等の里帰り支援

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|----------------------|-------------------------|
| 総合型スポーツクラブ加入者数 | 現状 260 人を 1,000 人に増加させる |
| 若年層のコミュニティ関係補助事業の活用数 | 現状 0 件 ⇒ 年間 2 件 |

◆政策 P 9：学校教育の充実による地域戦略

●施策 1：選ばれる学校教育プロジェクト「阿蘇で学問の進め！！」

阿蘇ならではの独自カリキュラムと ICT を活用した教育環境の充実をはかり、児童生徒が誇れる学校づくりを進めます。

【取組】

- ① ICT 活用型独自カリキュラムの推進
- ② スーパーティーチャーによる特別授業の実施
- ③ 地元の“三ツ星”食材・メニューを活用した給食の提供
- ④ 安心安全な学校環境の整備
- ⑤ 魅力ある体験型学習の創出
- ⑥ 特色ある学校教育の発信強化

【2020年の成果目標（KPI）】

| | |
|-----------------|-----------------------|
| 小中学校の ICT 環境整備率 | 現状 60 % を 80 % へ向上させる |
| 地元高等学校への進学率 | 現状 43 % を 50 % へ向上させる |